

儲ける仕組みを体感

企業経営実践

マネジメントゲーム 研修

マネジメントゲームとは

ソニーの社内研修を目的として昭和51年に作られた経営体感研修プログラム。

参加者は「社長」として資本金を元手に、一から会社を創り上げます。

投資、採用、仕入、製造、販売の全ての意思決定を一人で行い決算書を作成することで、経営力と会計力を鍛えることができます。



ソフトバンクの孫社長、楽天の三木谷社長なども





最高の従業員教育のためのツールとして認めて活用されています。
全国で1万社、500万人の受講実績があるツールです。

こんな方にオススメ

- 数字が苦手な方
- 経営力や会計力を鍛えたい方
- 社員研修に利用したい方
- 将来独立したい方

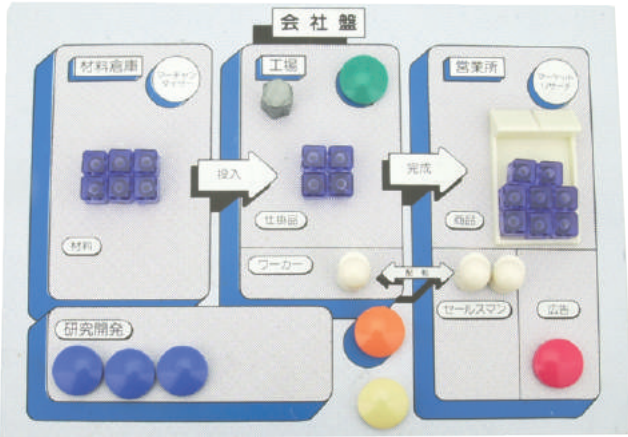


ポイント

-  会計財務に関する事前の予備知識は問いません!
-  経営プロセスを繰り返し体験することで経営感覚や会計知識が磨かれます!
-  経営の全責任を自分で負うことで、商売のメカニズムへの理解が深まり会社の全員経営が期待できます!
-  社長の視点で経営を疑似体験。経営の全体像を掴み、自身の業務を戦略的発想で捉えることができます!

マネジメントゲーム 流れ

1 資本金300万円を元手に会社経営をスタート



機械、コンピューターを設備投資し、人を雇い保険に入って経営活動をスタート。材料を仕入れて、作って、製品化して、売る。基本的な商売の流れを繰り返します。

2 順番に意思決定カードをひき意思決定を繰り返す (下記10項目のうち一つを選択)

会社経営は「意思決定」の繰り返し!

「社長の思い」が「意思決定」につながりそのまま「会社」にあらわれます。今何をするのか？ 全ては社長の意思決定したい!? ゲームは、同じ金額、同じ条件、同じルールでスタート。違うのはそれぞれの社長の意思決定のみ! 儲かるのも、儲からないのも全て社長したいなのです。

3 日本各地の市場で商売を展開



各市場で材料を仕入れて製品をつくり、販売します。販売はライバル各社で「入札制」。競い合う価格の一番安い方が勝ちます。でも高く売らなければ儲かりません。この矛盾にどう立ち向かうか!

4 マトリックス会計表で毎月ごと決算書を作成

社長自身の意思決定が自己資本にどう影響したか見える化してチェック!

社長の経営指針と瞬間の意思決定が会社の運命を左右します!

1年1年ゲームが終了すると決算を行います。1年間の結果と状態を数値で確認。このプロセスを繰り返すことで、会計・財務の仕組みや知識を理解し、どんぶり勘定や感覚ではなく数値をもとにした客観的な経営判断を行うことが可能になります。